



3月

パストラル尼崎

弥生

No.165_2026(R8)年2月25日

〔編集・発行〕

パストラル尼崎

尼崎市潮江1丁目10-2

Tel. 06-6493-0521

Fax. 06-6493-0301

発行責任者：竹田 恵之

◆3月の歳時記◆

『パストラルシニア大学 講師陣との思い出』

3月は卒業の季節。パストラルシニア大学の卒業式が13日に行われます。2015年に開校した「パストラルシニア大学」も、コロナ禍があったとはいえない1年が経ちました。これもひとえに皆様の溢れる好奇心と、殆ど無償で講演をご快諾下さった多くの講師のご厚意により成り立っていた事は言うまでもありません。ここ最近では大学教授、医師、専門のスペシャリストや、メディアに出演されている方々の講演が増え、開校当初より大学偏差値が上昇したかもしれません。笑



ここで特に想い出深かったエピソードをご紹介します。まず、あの日本銀行に依頼した時の事です。資料として事前に送られてきた膨大なデータ量が茫然。こんな量を1時間で話せる訳がないと思いきや、1分たがわずピタッと終了。その正確さに、さすが日本銀行！と思わず唸った事や、JALの講師として羽田から来て下さった副操縦士の島津さんが、制服姿を褒められはにかむ顔や、ご入居者との記念撮影の際、身を屈め背を合わせるなど、優しさが滲み出たような方でした。今頃、機長となられ世界の空を飛んでいるのかな。また「正倉院展」の講演を企画した際、宮内庁と奈良国立博物館に連絡。宮内庁職員の名に抜ける雲上人の様な声と講師を受けて下さった奈良国立博物館の学芸部長の優しさに感涙。講師の内藤先生は、現在、大阪市立美術館の館長をされています。未知の世界への依頼は外務省にも及びました。震える指で電話をすると自動音声の言語がなんと英語。泣き思わず切りそうになりましたが、その後は無事、日本語でのやりとり。外務省職員のクールで知性溢れるメールに惚れ惚れしたものです。また元、NHKアナウンサーだった住田氏は、全国放送の朝の顔やラジオ深夜便を担当した有名人ダメ元で依頼するも快諾下さった上、雀の涙もない謝金も社会活動に役立てますとの事。ダウン症の娘をもつ住田氏は、今も福祉や災害など取材を通じて感じた思いを発信し続けておられます。元気を貰ったと言える、高校野球の審判だった御年76歳の木嶋氏。社長業の傍ら講演活動もされていますが特に印象深かったのがその登場シーン。(お世辞にも綺麗とはいえない)ライトバンが車寄せに横づけされたかと思うと運転席の窓越しに「木嶋ですー」と爆音なご挨拶。何と高速で京都から来られたとの事。過去イチの音量で講演された後は、「栄冠は君に輝く」をこれまた爆音で歌い上げ颯爽とライトバンで去っていく姿に大いに元気を貰ったものでした。

11年間も継続できたシニア大学。毎回50人という驚きの参加者数を誇るパストラルシニア大学のご入居者のアグレッシブさと、全ての心優しき講師の皆様から感謝したいと思えます。(F)

エーデルワイスミュージアム

先月、“ちょっとそこまで企画”として尼崎の『エーデルワイスミュージアム』を見学。エーデルワイスといえは今や、有名百貨店に出店する「アンテノール」「ヴィタメール」など多くの洋菓子ブランドを擁する総本山！「ツマガリ」「ショータニ」など多くの有名パティシエなども輩出しています。ミュージアムは立花商店街のはずれの小さなケーキ屋からエーデルワイスを一代で興した比屋根氏のコレクションが集められています。小さいスペースながらたくさんのお見立のある菓子道具やクッキー缶などが並び、一代でここまで収集したとは思えぬほどの充実した内容となっています。また二階、三階ではパティシエがケーキを製造する様子が見られます。ロールケーキがカットされる度に「この端っこ、食べた〜い！」と大興奮の皆様。まるで女子高生のような様子。(笑) さて、参加者の中に、「私、比屋根さんを知ってるの。芦屋のロータリークラブで一緒してて、ご夫妻とも気さくでいい方だったのよ〜」や、「石垣島の名誉市民で比屋根さんが帰省すると島民が大歓迎してね・・・」「立花にあったケーキ屋さん。私、知ってるの」など貴重な皆様の経験談をお聞きする事もできました。

令和7年度 パストラルシニア大学

今年度も多彩な講師をお迎えし、充実した内容でお届けしています。講師陣からその受講姿勢を絶賛されている皆さま。今年度も是非ご参加下さい。

***毎回フロントにお申込み下さい。**

***当日は、学生証も忘れずに！**

第10回

『腸活で長寿を目指そう！』



3月13日(金) 14時

講師

近畿中央ヤクルト販売(株)

比嘉 彩乃 氏

最近、腸内環境のバランスが大腸がんをはじめとする慢性炎症性疾患の発生・進行に深く関与しているなど多くの研究者が発表しています。いま一度、腸内環境の重要性を学びましょう！